

2014年2月号

衣類のお手入れ通信

寒い時、「ショウガ紅茶」が良いと聞きました。ショウガの成分が体の隅々まで血行を良くして、ぽかぽかに温めてくれるだけでなく、体内の毒素を出してくれて、ダイエットにも効果的らしいですよ。まさに「おいしい話」ですね。紅茶にすりおろしたショウガとお好みで黒砂糖を入れるだけです。一度お試しください

【真冬は空気が乾燥するのでカビが発生しにくい？】

今の時期は一年のうちで一番空気が乾燥しますね。だから梅雨時のように衣服がカビに侵される心配が無いので一安心・・・と思ったら大間違い。実は今の時期は衣服にカビが生えやすいのです。「えっ？なぜ？空気が乾燥している時期なのになんでカビが生えるの？」と疑問をいだかれる方が多いかもしれません。

さらにこの季節は、綿、ナイロン、アセテート製品に使われている染料が変退色しやすい時期でもあるのです。その理由は、実はすき間風の無い「快適な家」にあります。確かに屋外も部屋の中も乾燥しているように感じますが、部屋の隅や押入れ、クローゼットの中は意外と湿気が溜まっています。その原因は、台所や風呂場、暖房器具などから発生した水蒸気です。現代の建物の構造は、高气密に設計してあります。そのため屋外に逃げられない湿気は、ドアの隙間を通して他の部屋にも流れ込み、部屋の隅や押入れ、クローゼットの辺りで溜まってしまうのです。

それに加えて厄介なのは、ガスコンロや石油ストーブなどから発生する酸化窒素ガス(NO_x ガス)です。この酸化窒素ガスも湿気と同様、屋外に逃げ出せずに部屋の隅に溜まり、綿、ナイロン、アセテート製品を変退色させてしまいます。変色は、ハンガーに吊るした物であればクローゼットの扉側の肩から袖付近にかけて現れ、たたんである物はたたみ端に現れます。特に怖いのは和服で酸化窒素ガスは和服を包装してある「たとう紙」の成分と反応して、和服の生地品質に関係なく、たたみ端の周辺を変色させてしまいます。

このようなことにならないように、クローゼットやタンスの中に除湿剤を置いたり、天候の良い日に、5分でいいですから窓を開けて換気するなどして、大切な衣服を予期せぬカビや変色からお守りください。

定休日：日曜日・祝日

営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6

TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博